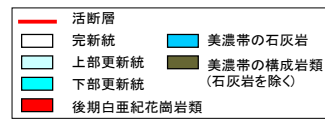


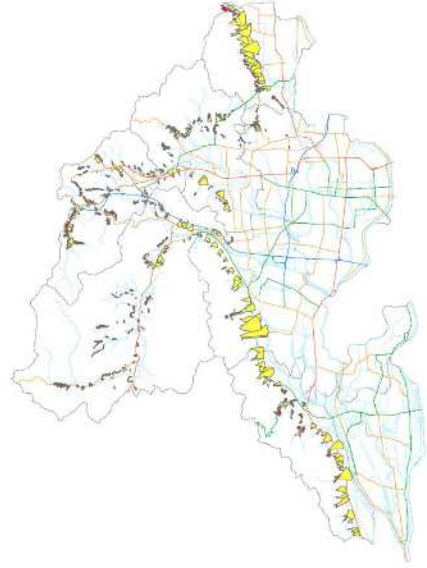
【養老山系の特性及び課題】

【養老山系全体の特性】

- 活断層(養老断層、関ヶ原断層等)が分布しており、明瞭な断層地形が見られる。
- 全国的にも有数の扇状地形が発達し、多くの天井川が存在する。
- 岐阜県における砂防事業発祥の地であり、古くから砂防工事が実施されているため、ハード対策の着手率は46%であり、県内平均(21%)と比較して、高い整備水準となっている。
- 流出土砂が多く既設えん堤に土砂堆積が著しい。また既設えん堤は、高齢化が進んでいる。



▲活断層分布図



▲土砂災害警戒区域の分布状況

関ヶ原町・大垣市・垂井町

【特 性】

- 内陸の丘陵地で冬季は積雪地域である。
- 東海環状自動車道の整備に伴い、局所的に開発が予想される。
- 人口が減少傾向にあり、高齢化が進行する地域である。
- 土砂災害警戒区域に含まれる要配慮者利用施設が多い。
- 災害時に孤立する可能性のある集落が多い。
- 大垣市は飛地での合併をしており、危機管理時の情報伝達体制等が重要である。

【課 題】

- 要配慮者利用施設、避難所・避難路(孤立集落)の保全
- 土砂災害防止法による開発行為の抑制
- 地域社会の変化に対応した実践的なソフト対策の構築



▲市町村合併状況

ハード対策の課題

- 地域の安全を確保する生命線である天井川への対策が必要。
- ソフト対策と連携した、重点整備箇所の効果的・効率的なハード対策が必要。
- 地域の安全を確保するため、関係機関と連携し効果的・効率的なハード対策が必要。
- 既設えん堤の異常堆積土の除去等、既存施設の機能確保が必要。

ソフト対策の課題

- 市町村合併による情報伝達・共有体制を強化するための実践的なソフト対策の推進が重要。
- 高齢者人口の増加や孤立集落等、地域コミュニティの変化に対応したソフト対策が必要。

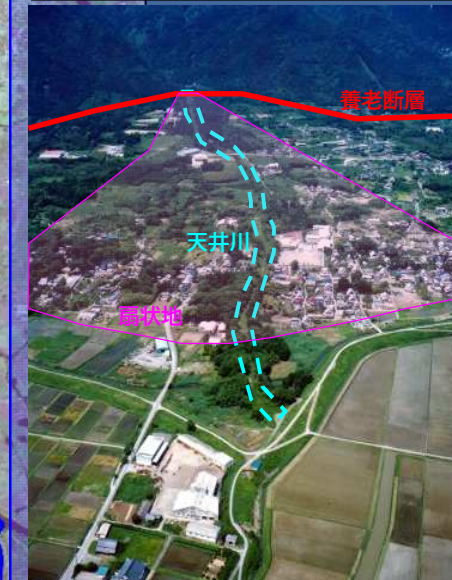
養老町・海津市南濃町・池田町

【特 性】

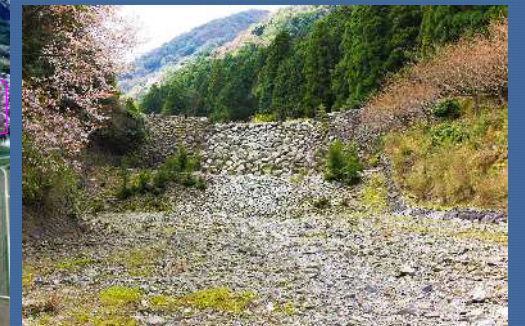
- 濃尾平野の西縁山地であり、顕著な扇状地地形を呈する。
- 河道が固定されて天井川となっている。
- 人口が減少傾向にあり、高齢化が進行する地域である。
- 古くから砂防事業に着手しており、歴史的砂防施設が多数存在する。
- 土砂の除去等、維持管理に対する要望が多い。
- 海津市は山麓部の旧南濃町と平野部の旧海津町、旧平田町が合併しており、市政において土砂災害対策の啓発が必要である。

【課 題】

- 天井川の特長性を考慮した既存施設の徹底的な機能確保
- 土砂災害防止法による開発行為の抑制
- 地域社会の変化に対応した実践的なソフト対策の構築



▲小倉谷扇状地



▲羽根谷砂防堰堤(第一堰堤)

岐阜県ランドサット画像
(岐阜県図書館世界分布図センター所蔵)

- ③ 行政職員・福祉関係者を対象とした勉強会の開催
土木、防災、福祉担当部局などの行政職員および介護保険事業者などの福祉関係者を対象に、土砂災害に関する勉強会を継続的に開催します。
- ④ 適切な避難に向けた防災学習
豪雨時に行政等から提供される情報や自宅周辺での前兆現象を理解し、土砂災害発生の危険性を予測して適切な避難を行うために、日頃から土砂災害と警戒避難に対する知識を高めます。

- 3) 広報活動
 - ① 土砂災害や砂防事業に関するイベントの開催
土砂災害や砂防事業を身近なものとして、広く県民に興味を持ってもらえるように、土砂災害防止月間を中心にイベントを開催します。

- ② 岐阜県さぼう遊学館の運営
羽根谷の歴史的砂防施設や周辺の自然を学習材料とし、羽根谷だんだん公園に併設する「さぼう遊学館」を最大限に活用し、土砂災害に関する知識や適切な避難の方法を学べるような施設運営を行います。



▲さぼう遊学館

- ③ 土砂災害の伝承
昭和34年の伊勢湾台風や昭和46年の台風23号による被害等、地域に伝わる災害事例・災害体験等を調査整理し、広く公表するとともに、後世に永く伝承していきます。

- ④ 歴史的砂防施設の継承
登録有形文化財である羽根谷砂防えん堤を始め、養老山系には明治から昭和初期にかけて巨石積や空石積の堰堤が多数設置されています。これら歴史的に貴重な砂防施設を保存し次世代に継承していくとともに、関連する資料を保存していきます。また、地域文化の一つとして、その価値を伝えるために新たな砂防関係施設整備時の配慮や地域の文化的遺産としての活用などを行います。



▲登録有形文化財の歴史的砂防施設「羽根谷砂防えん堤」

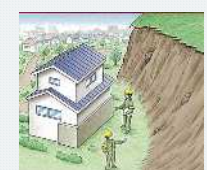
【整備目標期間】	R5	R10	R15	R25
市町・県				
住民・市町・県				
市町・県				
県・市				
住民・市町・県				
市町・県				

3. 土砂災害に対する安全な県土づくり ～土砂災害を未然に防ぐために～

- (1) 土砂災害特別警戒区域の適正な土地利用への誘導
 - ① 特定の開発行為に対する許可制による立地抑制
土砂災害特別警戒区域においては、住宅地分譲や災害時要援護者関連施設の建築のための開発行為は基準に従ったものに限って許可します。



- ② 建築物の構造規制
土砂災害特別警戒区域において、居室を有する建築物を新築または改築する際には、作用すると想定される衝撃に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認をします。



- ③ 既存不適格住宅の移転の支援
土砂災害特別警戒区域内の著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者に対し、移転等の勧告が図られます。また、住宅の移転に対しては「住宅金融支援機構の融資」等を活用して支援します。



【整備目標期間】	R5	R10	R15	R25
県				
市・県				
市町・県・国				

- (2) 土砂災害のおそれのある箇所の適正な土砂管理
 - 1) 砂防関係施設整備による土砂災害発生源の拡大防止
 - ① 土砂災害発生源箇所及び発生のおそれのある箇所における砂防関係施設整備の実施
災害発生予兆時および災害発生時には、緊急に対応をとり、施設を整備します。



▲関ヶ原町「今須川」

- ② 下流域での河床の安定化に向けた土砂流出のコントロール
荒廃した山地を源流域に持つ河川では、そこから流れ出す土砂によって河床が上昇し洪水氾濫が発生し、流域全体にわたって大きな被害をもたらします。このような河川においては、上流域で土砂流出をコントロールし、下流河川での河床を安定化する必要があります。養老山系では牧田川上流域などにおける荒廃した山地からの土砂流出を抑制し、下流域への土砂供給をコントロールする砂防関係施設整備を実施します。
- ③ 流木対策の実施
治山部局等による森林の適正管理とあわせ、砂防堰堤については、流木を捕捉する機能の高い透過構造を有する施設を整備をします。
- ④ 環境に配慮した砂防関係施設整備の推進
養老山系では平成10年3月に「揖斐川水系溪流環境整備計画」が策定されており、魚類ではハリヨ・ネコギギ、昆虫類ではギフチョウ・ムカシトンボ、植生では養老山頂のアセビ群落・時山のツクバネガシ林などが配慮すべき環境要素として挙げられています。養老山系において砂防事業を実施するにあたっては、環境負荷を低減し、豊かな自然環境の保全、創出、地域文化を考慮した施設整備を推進します。

- 2) 砂防指定地等の適正な管理
 - ① 砂防指定地内行為等の許可制による行為規制
土砂災害を未然に防止するため、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域内において土砂災害の発生を助長させるような行為は、基準に従ったものに限って許可を行います。
 - ② 砂防指定地等の指定区域を周知する看板の設置
土砂災害の発生するおそれがある土地を周知するため、法規制区域(砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域・地すべり防止区域)、土砂災害警戒区域等に対し、現地に看板を設置します。
 - ③ 不法行為の監視
土砂災害を未然に防止するため、土砂災害の発生を助長させるような不正な行為が行われないように、指定区域を監視します。
 - ④ 砂防指定地等区域の追加、見直し
土砂災害を未然に防止するため、砂防指定地等区域の追加指定、見直しを実施します。
 - ⑤ 土砂災害警戒区域の点検
近い将来発生が懸念される「東海地震」や台風時などの大雨による災害から生命・身体をできる限り守るため土砂災害警戒区域に対し定期的に点検を行います。

- 3) 森林の適正な管理
 - ① 間伐の推進
養老山系では、災害に強い森林づくりを進めるため、間伐が計画的に行われています。砂防事業では、間伐材の使用に努め、間伐の推進に協力します。
- (3) 大規模災害への対応
 - ① 緊急輸送道路を保全する砂防関係施設整備の実施
災害時に救急活動等に必要となる人員及び物資の輸送ができるよう、砂防関係施設を整備し、緊急輸送道路を保全します。
 - ② 集落を保全する砂防関係施設整備の実施
災害時に被害が甚大となる集落が、土砂災害警戒区域に存在する箇所を対象に砂防関係施設整備を検討します。

- (4) 砂防関係施設の適正な維持管理
 - ① 岐阜県砂防関係施設長寿命化計画に基づく維持管理の実施
養老山系では古くから砂防事業が実施されてきたため、既設の砂防関係施設が多くあります。県は、既に整備された砂防関係施設が適切に機能を発揮するように、適正な維持管理を行い機能の確保に努めます。劣化損傷が進行した段階で補修を実施してきた従来の事後保全的な維持管理から、計画的な定期点検による劣化損傷の早期発見及び軽微な段階での補修を実施し、予防保全的な維持管理を図ります。



▲既設砂防えん堤の劣化状況 水油谷(海津市)

- ② 既存砂防えん堤の除石等の実施
県は、既存砂防えん堤の機能が適正に発揮されるよう、既存えん堤の除石や伐採を実施します。また、出水等により異常堆砂がみられた場合は速やかに除石等を実施します。



▲平成14年7月10日台風6号及び梅雨前線豪雨災害 揖斐郡池田町「大津谷」

- (5) 流域治水(砂防)の推進
 - ① 土砂・洪水氾濫対策の実施
県は、土砂・洪水氾濫のリスクの高い流域を抽出し、人家や道路・鉄道等の重要なネットワークインフラ等の立地状況やまちづくり計画等を踏まえたうえで、下流の市街地に対し、効率的な施設配置計画を策定していきます。
 - ② 流域流木対策の実施
県は、流域全体の流木被害を防止・軽減するため、林野事業と砂防事業が対策の実施に向けて情報共有等連携を図ります。
 - ③ 土砂災害リスクを踏まえた防災まちづくりの実施
県は、市町や都市部局と連携し、防災まちづくり(安全な場所への居住)や、ハザードマップの作成・周知、避難訓練、警戒避難体制の整備に対する支援を実施していきます。

【整備目標期間】	R5	R10	R15	R25
県				
県				
県				
県				
県				
住民・市町・県				
県				
住民・市町・県				
住民・市町・県				
県				
住民・市町・県				
県				
県				
県				
住民・市町・県				
県				
市町・県・国				